

志賀原子力発電所プロジェクトが平成16年度土木学会技術賞受賞

平成17年5月27日
北陸電力株式会社

電力の安定供給の確保と地球温暖化防止対策などの観点から当社が進めてまいりました志賀原子力発電所建設プロジェクトは、2号機の営業運転開始（平成18年3月予定）をもって完成します。

当発電所建設にあたりましては、自然環境や地域環境との調和を目指し、レイアウトや構造形式に、これまでにない様々な工夫を施しております。

こうした取り組みの中で、「自然と人へのやさしさ」を実現したことが評価され、本日5月27日、社団法人土木学会より「2004年度土木学会技術賞」を受賞しましたのでお知らせします。

受賞テーマと内容

（テーマ）

「能登半島に築く志賀原子力発電所 -
臨海地点における自然環境との調和への挑戦」

（内容）

「環境保全優先の施設設計」という新しいコンセプトのもとで、以下のレイアウト・構造形式を採用

- (1) 海洋環境を残すため、潮流を妨げない一文字式防波堤と出島式物揚場を組み合わせ、港湾設備のコンパクト化を実現
- (2) 岩礁海岸、県道をそのまま残すため、冷却用海水の取放水口を沖合いに出すとともに取放水路に海底トンネルを採用
- (3) 温排水による海水の温度上昇範囲を小さくするため、沖合いの水深の深い所から高速で放水する、水中放水方式を採用
- (4) 建屋高さを低く抑えるため半地下式とするとともに、周囲に緑化築堤を配置し、360°が緑で囲まれた発電所を実現

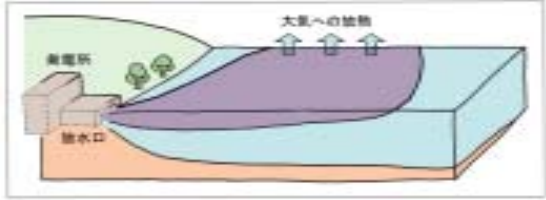
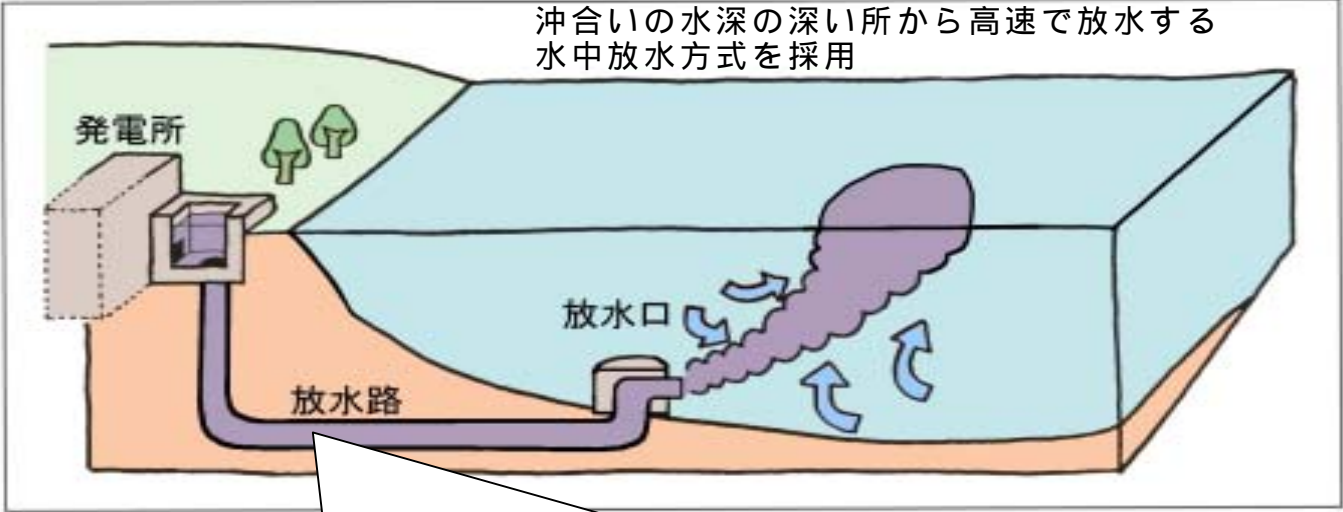
以上

【参考】土木学会技術賞とは

- ・土木学会賞は技術賞、環境賞、論文賞など12部門が設定され、土木の幅広い分野から選ばれている。なかでも技術賞は、土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる画期的なプロジェクトに与えられる、最も栄誉ある賞。
- ・技術賞は40年前の昭和40年度以降、平成15年度までに206件（うち電力関係26件）表彰されている。
- ・電力会社では東京、関西、北海道、四国、電発が受賞。原子力関連では今回の受賞が初めて。



志賀原子力発電所（石川県羽咋郡志賀町）



(参考) 表層放水方式

岩礁海岸、県道をそのまま残すため、取放水路に海底トンネルを採用

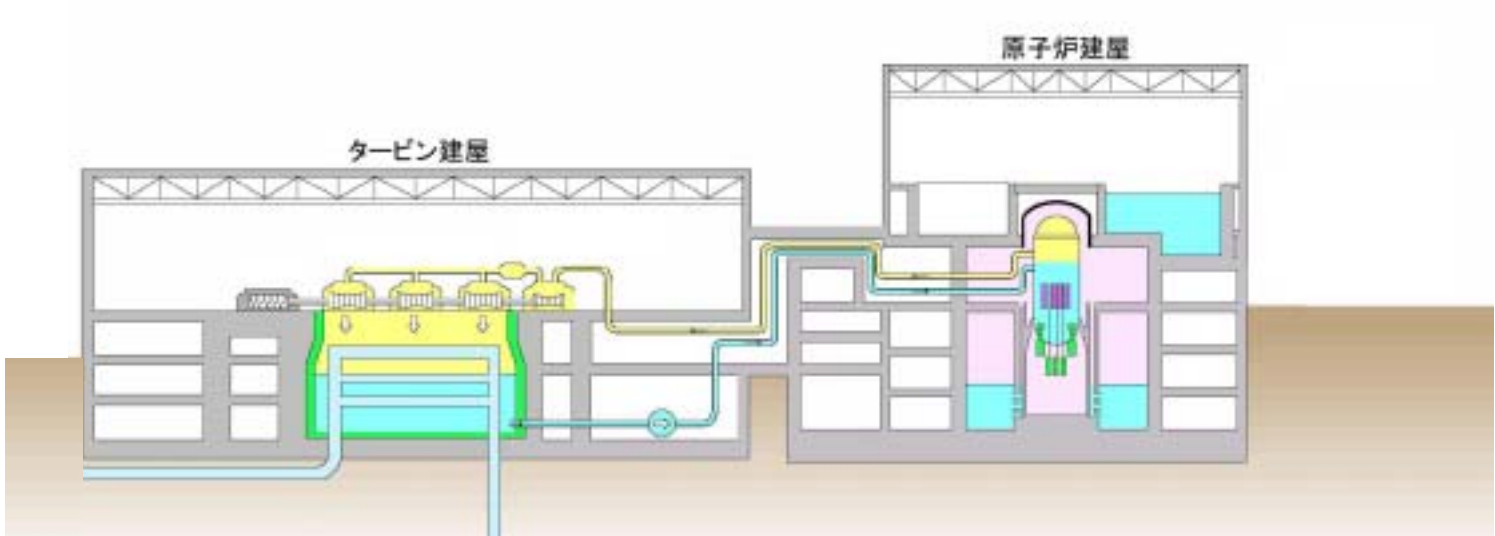


海底トンネルの内部



敷地の前面を通る県道

海底トンネル、水中放水方式の採用



建屋高さを低く抑えるため半地下式とした原子炉建屋，タービン建屋などの施設



緑で囲まれた発電所